



# 西村名誉教授招き「デマンド交通」学ぶ

## 他党派県議・県職員も参加 共産党県議団が公開研修会

日本共産党県議団は 20 日、高崎市内で公開研修会を開き 50 人余が参加しました。

大沢綾子県議が司会し、西村茂金沢大学名誉教授が「すべての住民に移動を保障するデマンド交通 ドアからドアをめざして」と題して講演しました。

西村氏は、気候危機対策や高齢者の移動対策として自家用車への依存を減らすことが求められているとして、全国各地のオンデマンド交通や乗り合い・相乗りタクシー、シェアサイクルなどの実例を紹介。今、議論されている「ライドシェア」は産業政策でなく、福祉・環境政策として検討すべきと強調しました。

酒井宏明県議が、県の交通政策の現状や問題点について報告したあと、党地方議員や公共交通利用者などから質問や要望が活発に出されました。「今後、公共交通の重要性はますます高まると思う」「鉄道やバスだけでなく、さまざまな交通手段があることを学べた」などの感想が寄せられました。県の担当者や他会派の県議も参加しました。

